

平成 11 年度 北海道地区国立学校等区別技術専門職員研修報告

電気・情報系（電気電子工学科）

野崎久司

建設・機械系（機械システム工学科）

塩崎修

センター系（電気電子工学科・機器分析センター）

沓澤幸成

1. 研修期間・場所

期 間 1999 年 11 月 9 日（火）～12 日（金）

場 所 北海道大学 学術交流会館（札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

2. 研修目的

北海道地区国立学校等の技術専門職員及び技術専門職員相当の職にある者に対して、その職務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たなる専門知識、技術等を修得し、職員としての資質向上をはかることを目的とする。

3. 研修受講者数

北海道地区国立学校等の技術専門職員及び技術専門職員相当の職にある、機械系分野 30 名及び電気・電子分野 30 名の合計 60 名。

4. 研修日程及び内容

11 月 9 日（火）

【機械、電気・電子コース合同】

09:45 オリエンテーション、開講式

10:15～11:45 「人事行政上の諸問題」

文部省大臣官房人事課福祉班主査

野中修氏

13:00～14:30 「学術研究振興と国際交流」

文部省学術国際局研究助成課課長補佐

木下真氏

14:45～15:45 「人事実務上の課題」

文部省大臣官房人事課審査班審査第一係長

郡司良男氏

16:00～17:00 先輩講和

北海道大学工学部技術専門官

鳥海郁夫氏

堀健一郎氏

11月10日(水)

【機械、電気・電子コース合同】

09:00～10:30 「環境マネジメントシステム」

株式会社 エコニクス 環境マネジメント部次長

伊藤公裕氏

【機械コース】

10:30～12:00 「工作技術に望むもの」

北海道大学理学研究科

教授 中原純一郎氏

12:45～17:15 施設見学

株式会社 小樽製作所 小樽市銭函3-511-12

株式会社 松本工業所 小樽市長橋3-1-15

【電気・電子コース】

10:30～12:00 「基礎研究から商品化まで」

北海道大学工学研究科

教授 武笠幸一氏

13:00～14:00 「先端材料研究における最新の電子顕微鏡の役割」

北海道大学エネルギー先端工学研究センター

教授 高橋平七郎氏

14:00～17:00 実習

ナノエレクトロニクス 工学部実験室

電子顕微鏡 新世代先端材料研究実験棟

11月11日(木)

【機械、電気・電子コース合同】

09:00～10:30 「感覚支援工学からバーチャルリアリティとロボティクス」

北海道大学電子科学研究所

教授 伊福部達氏

【機械コース】

10:30～12:00 「実習について講義」(ビデオを含む)

北海道大学理学部 技術専門職員

小檜山守男氏

13:00～17:00 実習「真空部品の製作技術」

ガラス封着技術 電子科学研究所ガラス工作室

溶接技術 低温科学研究所機械工作室

切削

理学部機械工作室

【電気・電子コース】

10:30～12:00 「これからの大学での試作技術（電気・電子系技術の動向をふまえて）」

北海道大学工学研究科

助教授 三木 信弘 氏

13:00～17:00 施設見学

株式会社 エルムデータ 札幌テクノパーク

株式会社 ビー・ユー・ジー 札幌テクノパーク

11月12日（金）

【機械コース】

09:00～10:30 「技術討論」 30名を2班に分けて行った。

【電気・電子コース】

09:00～10:30 「技術討論」 30名を2班に分けて行った。

【機械、電気・電子コース合同】

10:30～12:00 「宇宙科学技術の行方」

北海道大学工学研究科

教授 工藤 勲 氏

13:00～14:00 「安全教育」ビデオ

14:15～15:45 「企業における技術の動向」

株式会社 日立製作所中央研究所

嘱託 嶋田 壽一 氏

15:45～ 閉講式

5. 終わりに

5-1 野崎久司

北海道の大学及び高専の技術専門職員を一同に集めて行う技術研修は、大変に有意義なことと思われた。今回は、機械系と電気・電子系の技術専門職員を対象に初めて行われたが、同じ系統の数多くの技術職員と話せる機会が持てて幸せであった。

初めての行事なので次回からの参考にと、私なりに二、三運行上の改善点を指摘する。

①電気・電子分野の二日目に行われた実習ですが、3時間で2箇所は多すぎると思う。主催者側のいろいろと知ってもらいたいという主旨は私にも分かるのですが、何箇所も見学するよりも一箇所に絞って実習を行ったほうが身につくのではないかと思う。

②四日目の最初に行った技術討論ですが、何か題目を設けて、討論を煮詰めたかったです。また、人数の15名は適当と思われるが、討論時間が短く半日程度で企画すると面白いのではないか。

③自分勝手なお願いかとは思いますが、今回は3人の講師の方の講義資料が無く、講義室での席によっては、スライドが見にくい場合や講師の声が聴きづらいときもあるので講義資料としてスライドの写しでも用意していただけるとよかったかと思う。

いろいろ有りましたが、この研修に参加できよかったと思う。これからもより多くの技術官がこのような研修に参加できることを望む。

最後に、この研修に参加する機会を与えてくださった技術部長をはじめ各系の技術長、庶務課関係者に深く感謝する。

5-2 塩崎 修

今回の研修に参加し、今後の教育・研究の補助として従事していく上で、多くの知識を得ることが出来た。今後は、各技官個人の技術のレベルアップと、研究室、講座、大学に大きく寄与して行くためには個々の機器・装置または技術にこだわらず、多面的な研修が必要であろうと改めて認識した。

最後に、この研修の準備のために色々御苦勞された、北海道大学技術部を始めとする関係者の皆様に感謝申し上げる。

5-3 沓澤 幸成

4日間に及ぶ研修であったが、全体として（一部の講義を除いて）、私には大変有益なものであった。しかし、講義をもう少し削ってでも実習に重点をおいた研修であってほしかった。唯一あった実習も、時間の都合から一通り装置を見ると言う「見学」になってしまったことは残念ある。また、技術討論も真の意味での技術討論になるよう早い時期からテーマをきめ、研修会参加予定者各人がテーマにあった技術発表をするなど今後検討する余地があるように思われた。

主管大学である北海道大学においては、初めてのことでありいろいろと苦勞されたことと思うが、今後の研修については一考をお願いしたい。